

# 1 学校での勉強について

## (1) 授業への取り組み方

みなさんの勉強は授業が基本です。毎時間の授業を大事にすることが、各教科等の基礎的・基本的な内容を定着させる近道であり、応用力をつけるための原点です。

### ① 「チャイム開始」を守ろう。

授業への態勢が整っていないと、スタート時点から慌ててしまいがちです。チャイム前に教科書やノート、筆記用具等、授業に必要な準備を整え着席しておき、チャイムと同時に、「さあ、勉強しよう！」という気持ちや姿勢に切り替えましょう。



### ② 準備物・提出物を忘れないようにしましょう。

やる気があっても道具がなければ満足な学習成果は得られません。チャイム前に授業準備をして、前時の内容を2～3分見直しておくだけで、その日の授業のスタートがスムーズになります。

また、宿題や自主勉強ノートは必ず提出しましょう。学習した内容を復習したり、これから習うことを予習したりすることで、知識を確実に身に付けましょう。



### ③ 授業に集中しましょう。

気をゆるめると何を勉強しているのか分からなくなってしまう。聞きもらしてしまった学習内容の上に、学習を積み重ねようとしても、理解することは難しいです。一言も聞きもらすまいという気持ちで授業に臨みましょう。



### ④ ノートを工夫しましょう。

分かったつもりでいても時間が経つと忘れてしまうことがあります。後で復習する時の参考にするためにも、授業内容をノートに分かりやすく書いておきましょう。また、板書にない事柄でも、先生の一言には大事な内容が含まれています。聞き逃さず書き留めておきましょう。



### ⑤ 発表や活動に積極的に参加しましょう。

意見を交換したり自分から進んで発表したりすることで、新たなことに気づいたり、より深く理解することができたりします。集中力を切らさないことにもつながります。



## 《 発表のしかた 》

### ○意見を言うとき

私（僕）は、……と思います。（考えます。）その理由は……

### ○意見が似ているとき

私（僕）も○○さんの意見に賛成です。その理由は……

### ○意見がちがうとき

私（僕）は○○さんの意見に反対です。その理由は……

### ○付け足すとき

○○さんの意見に付け足します。……

### ○質問するとき・確かめるとき

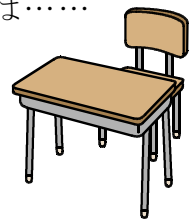
○さんに尋ねます。なぜそうなるのですか。

### ○意見が変わったとき

私は、最初……という意見でしたが、今は……です。その理由は……

### ○これまでの意見をまとめるとき

みんなの意見をまとめると……



## (2) テストの受け方

学習した内容の定着度や、自分の今後の課題をはっきり知る機会の1つに、テストがあります。中学校で行っているテストは、大きく分けて ①定期テスト、②実力テスト、③基礎学力テスト、④国・県の学力テストの4種類です。

### ① 定期テスト

各学期ごとにあるテストです。1・2学期にはそれぞれ中間テストと期末テスト、3学期には学年末テストが実施されます。中間テストは5教科、期末テスト・学年末テストは9教科で行います。それぞれの期間内に学習した内容がテスト範囲となって、授業内容の定着度を振り返ることができます。

### ② 実力テスト

夏休み・冬休み・春休みなどの長期の休み明けに行われる課題テストや、中学校に入学してから現在までの全範囲から出題される実力テストがあります。継続した学習の積み重ねが問われる内容となっています。

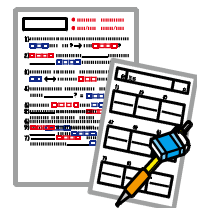
### ③ 基礎学力テスト

徳島県内の中学校で一斉に行われるテストです。1・2年生は年1回、3年生は年3回実施します。中学校に入学してから現在までの全範囲から出題され、徳島県公立高校の入試にもっとも近いテストとなっています。

### ④ 国・県の学力テスト

国や県でつくったテストを全国や県内の全ての中学生を対象にして一斉に行うテストです。国が行うテストは「全国学力・学習状況調査」で、中学校3年生が対象です。徳島県が行うテストは「徳島県学カステップアップテスト」で、中学校1年生・2年生を対象にしています。

（令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため、④は中止となりました。）



たくさんのテストがあり、「テストばかりでいやだなあ。」と思いがちですが、前向きにとらえてみましょう。部活動でも、日頃の練習だけでなく、練習試合を数多くこなすと実力が身につく、総体などの大会本番で大いに力を発揮することができます。勉強も同じです。自分の夢に近づくためにも、入試本番で力を発揮できるよう、それぞれのテストで今の自分の学習内容の定着度や課題を確認し、学力向上につなげていきましょう。

## 《 すべてのテストに共通すること 》

### テストは受けっぱなしにせず、必ず解き直すこと！

テスト前の準備も大切ですが、終わった後の方がもっと大切です。間違えた問題は、解説を聞いて(見て)必ず解き直しをしましょう。「テスト反省ノート」を作るのもよい方法です。分かっていたけれどミスをしてしまったのか、勉強不足で本当に分からなかったのか、なぜ間違えたのかを明確にし、同じ事を繰り返さないようにしましょう。

## 《 テストを受けるときの留意点 》…受検と同じ！

- ① 机の中はからっぽにし、机の横に何も吊らない。
- ② 机の上には、必要な物だけ置く。
  - ・鉛筆（シャープペンシル）2～3本、消しゴム、定規、コンパス
- ③ チャイムが鳴る少し前には、静かに着席しておく。
- ④ 問題と解答用紙がそろっているか確認する。
- ⑤ 解答用紙にはまず最初に名前を必ず書く。
- ⑥ 先に問題全体を見渡し、取り組みやすい問題から解く。
- ⑦ 問題の重要な部分にアンダーラインを引く。
  - ・「記号で答えなさい。」「漢字で答えなさい。」など
- ⑧ 時間配分を考えながら解く。
  - ・1つの問題で悩みすぎないこと。
- ⑨ 解答用紙の文字はていねいに書き、落書きはしない。
  - ・はっきりと濃く、ていねいな文字を書くよう心がける。
- ⑩ 目線は、自分の机の上のテストか、前方にある時計だけに向ける。
  - ・きょろきょろしたり、人の答案を見たりしない。不正行為と疑われることはしない。
- ⑪ 時間いっぱい取り組む。
  - ・時間が余ったら、必ず書き間違いなどをしていないか、くり返し見直す。
  - ・粘り強く最後まで解き、答えを絞り出す。できるだけ空欄をうめる。
- ⑫ 正しい姿勢を保つ。
  - ・机に突っ伏したり、もたれたりしない。入試では、試験中に姿勢が悪い人や眠っている人にはチェックが入ります。
- ⑬ 終了のチャイムと同時に、速やかに鉛筆（シャープペンシル）を置く。



### 3つの「あ」の精神

- あせらず（落ち着いてよく読む）
- あきらめず（できるところがある）（問題のあちこちにヒントがある）
- あまくみず（見直そう）